

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2024 年 第 52 週（12 月 23 日～12 月 29 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし		
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	2 人	類型	患者 1 人、 無症状病原体保有者 1 人
		血清型	O157 1 人、不明 1 人
四類感染症 E 型肝炎	1 人	推定感染地域	国内
レジオネラ症	4 人	病型	肺炎型 4 人
五類感染症 アメーバ赤痢	1 人	病型	腸管アメーバ症
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1 人	菌種	<i>Klebsiella</i> sp.
急性脳炎	2 人	病原体	インフルエンザウイルス A 型 1 人、 不明 1 人
侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 人		
梅毒	12 人	病型	早期顕症 I 期 3 人、 早期顕症 II 期 5 人、 無症状病原体保有者 4 人
百日咳	3 人	年齢階級	10 歳代 1 人、20 歳代 1 人、 50 歳代 1 人

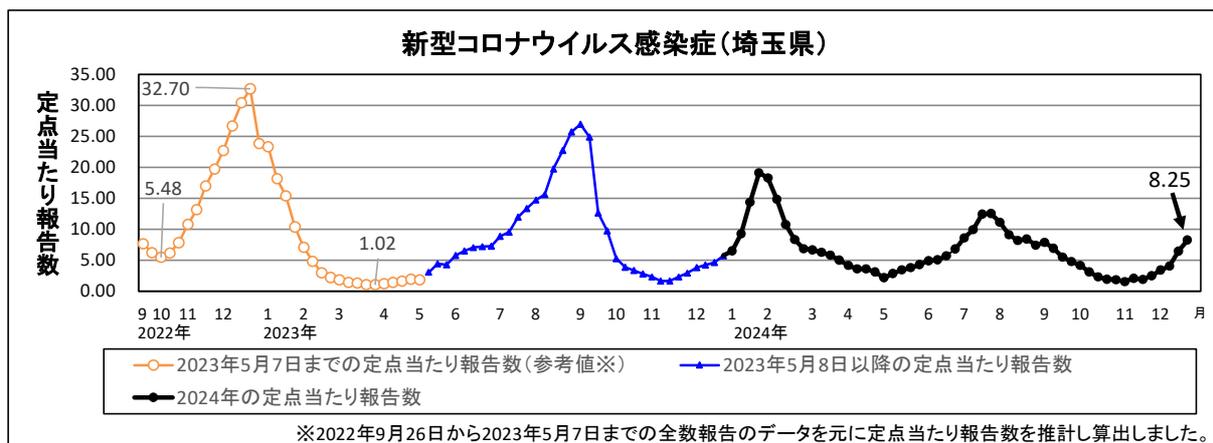
< 定点把握対象疾患の患者情報 >

新型コロナウイルス感染症（6.46→8.25:図1）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、幸手（16.07）保健所管内からの報告が特に多く、南部（6.38→12.88）保健所管内からの報告も多い。基幹定点における入院患者の報告は90人（前週69人）であり、年齢階級別では、70歳以上が約81%であった。インフルエンザ（19.61→51.06→76.56:図2-1～4）の定点当たり報告数は、前週に引き続き大きく増加した。定点当たり報告数76.56は1999年の感染症法施行以降、2番目に高い値である。保健所別では、川口市（99.55）、草加（96.11）保健所管内からの報告が多く、春日部（45.80→93.00）保健所管内では前週と比較して大きく増加した。年齢階級別では、14歳以下の患者が全体の約53%であった。また、基幹定点報告疾患のインフルエンザ（入院）（図2-4）は127人（前週89人）であり、第50週以降大きく増加を続けている。年齢階級別では、70歳以上の報告が全体の約56%であった。伝染性紅斑（3.71→2.74:図3-1,2）の定点当たり報告数は、前週と比較して減少したものの、多い状況にある。保健所別では、南部（6.80）、川口市（5.38）保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎16人、流行性角結膜炎37人の報告があった。基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎1人、マイコプラズマ肺炎29人（前週21人）の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ（URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-ids.html>）で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第52週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<インフルエンザ流行情報（第52週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図2-1 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

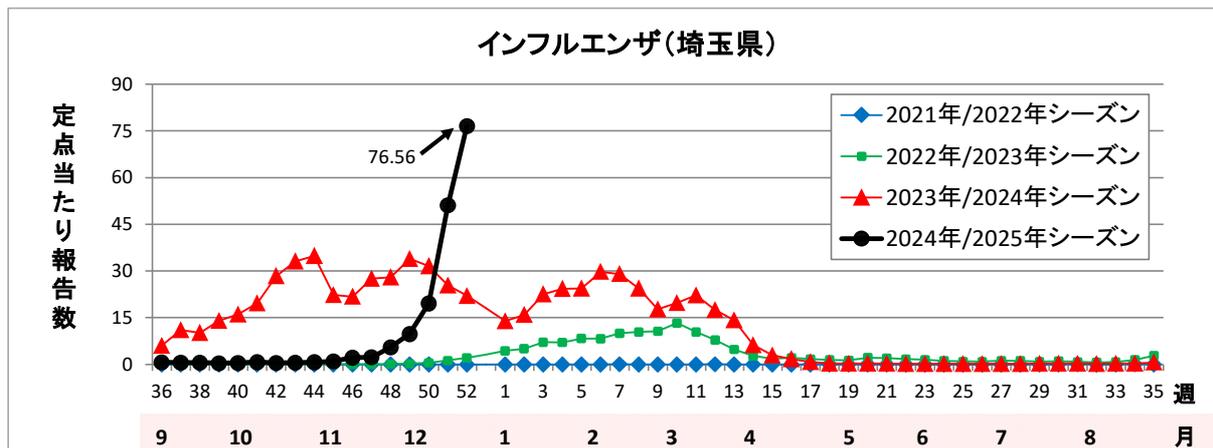
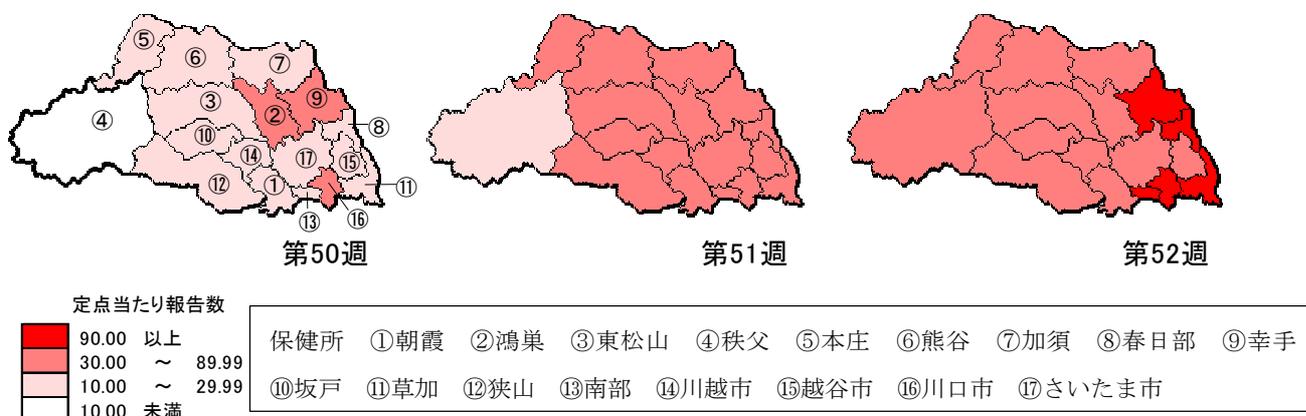


図2-2 インフルエンザの保健所別流行状況の推移（2024年第50週～第52週）



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図 3-1 伝染性紅斑の定点当たり報告数の推移

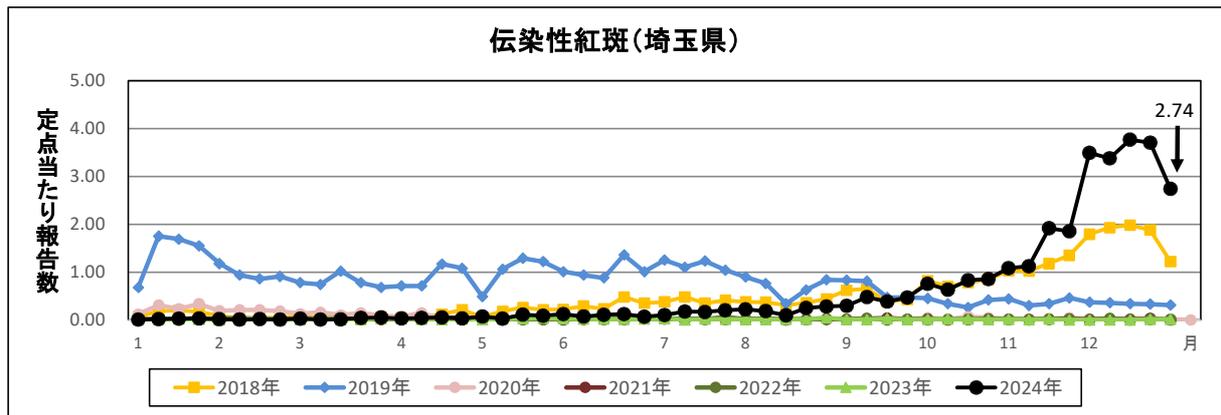
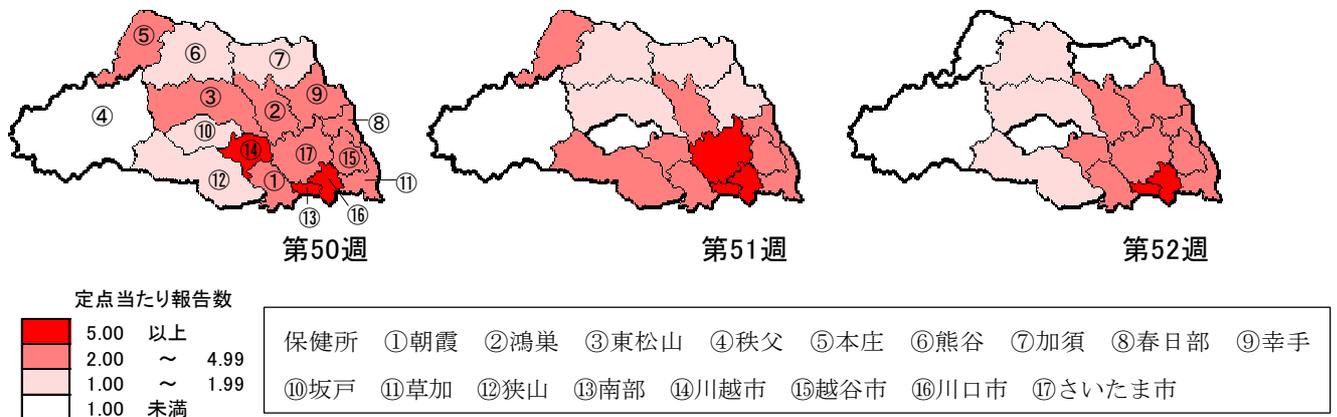


図 3-2 伝染性紅斑の保健所別流行状況の推移 (2024年第50週~第52週)



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第52週)

(2025年1月7日 16:45集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢		2	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	2	183			
四類感染症					
E型肝炎	1	39	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		1
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		1
キャサナル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		3
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		1
チクングニア熱			レジオネラ症	4	141
つつが虫病		3	レプトスピラ症		1
デング熱		11	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	1	26	侵襲性肺炎球菌感染症		97
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		17	水痘(入院例に限る)		5
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	103	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		1	梅毒	12	475
急性脳炎	2	28	播種性クリプトコックス症		8
クリプトスポリジウム症			破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		2	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		108	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		33	百日咳	3	172
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	30	麻しん		8
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第52週

12月23日~12月29日)

保 健 所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	新型コロナウイルス	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス 感染症 (入院)
		#1	感染症	感染症												#2		#3				
全 県	報告数 2,152	19,981	2,152	74	85	403	873	58	93	449	32	-	8	16	37	-	1	29	-	-	127	90
	76.56	76.56	8.25	0.45	0.52	2.46	5.32	0.35	0.57	2.74	0.20	-	0.05	0.38	0.88	-	0.08	2.42	-	-	10.58	7.50
朝 霞	報告数 172	2,029	172	3	4	64	106	10	14	44	3	-	-	-	2	-	-	7	-	-	9	2
	88.22	88.22	7.48	0.20	0.27	4.27	7.07	0.67	0.93	2.93	0.20	-	-	-	0.50	-	-	7.00	-	-	9.00	2.00
鴻 巣	報告数 173	1,388	173	12	10	33	63	1	3	32	5	-	1	-	4	*	*	*	*	*	*	*
	73.05	73.05	9.11	1.00	0.83	2.75	5.25	0.08	0.25	2.67	0.42	-	0.08	-	1.33	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数 32	427	32	-	-	8	37	-	-	6	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	12	4
	53.38	53.38	4.00	-	-	1.60	7.40	-	-	1.20	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	12.00	4.00
秩 父	報告数 53	267	53	1	1	5	-	-	1	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	1
	53.40	53.40	10.60	0.33	0.33	1.67	-	-	0.33	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	1.00
本 庄	報告数 39	428	39	-	2	-	-	7	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1
	61.14	61.14	5.57	-	0.50	-	-	1.75	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00	1.00
熊 谷	報告数 128	1,017	128	2	4	10	31	6	6	8	2	-	-	-	6	-	-	-	-	-	17	7
	78.23	78.23	9.85	0.25	0.50	1.25	3.88	0.75	0.75	1.00	0.25	-	-	-	3.00	-	-	-	-	-	17.00	7.00
加 須	報告数 68	668	68	1	1	2	8	1	7	2	2	-	-	-	3	-	-	3	-	-	16	10
	66.80	66.80	6.80	0.17	0.17	0.33	1.33	0.17	1.17	0.33	0.33	-	-	-	3.00	-	-	3.00	-	-	16.00	10.00
春 日 部	報告数 113	930	113	8	19	17	46	-	4	12	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	93.00	93.00	11.30	1.33	3.17	2.83	7.67	-	0.67	2.00	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数 225	1,262	225	8	7	27	25	4	4	24	1	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	90.14	90.14	16.07	0.89	0.78	3.00	2.78	0.44	0.44	2.67	0.11	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数 116	765	116	1	1	7	39	3	10	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
	76.50	76.50	11.60	0.17	0.17	1.17	6.50	0.50	1.67	0.67	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19.00
草 加	報告数 164	1,826	164	-	5	22	75	3	11	49	2	-	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	96.11	96.11	8.63	-	0.42	1.83	6.25	0.25	0.92	4.08	0.17	-	0.08	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数 233	2,085	233	7	5	54	39	9	3	16	2	-	1	16	3	-	-	2	-	-	6	6
	83.40	83.40	9.32	0.44	0.31	3.38	2.44	0.56	0.19	1.00	0.13	-	0.06	3.20	0.60	-	-	2.00	-	-	6.00	6.00
南 部	報告数 103	726	103	6	5	38	50	-	7	34	2	-	2	-	-	-	-	8	-	-	6	21
	90.75	90.75	12.88	1.20	1.00	7.60	10.00	-	1.40	6.80	0.40	-	0.40	-	-	-	-	8.00	-	-	6.00	21.00
川 越 市	報告数 77	1,056	77	1	3	16	25	6	2	25	-	-	-	-	4	*	*	*	*	*	*	*
	75.43	75.43	5.50	0.13	0.38	2.00	3.13	0.75	0.25	3.13	-	-	-	-	2.00	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数 146	992	146	1	-	12	42	-	-	25	5	-	-	-	3	-	1	6	-	-	9	6
	76.31	76.31	11.23	0.13	-	1.50	5.25	-	-	3.13	0.63	-	-	-	1.50	-	1.00	6.00	-	-	9.00	6.00
川 口 市	報告数 127	1,991	127	4	6	30	153	1	6	70	-	-	1	-	4	-	-	1	-	-	20	4
	99.55	99.55	6.35	0.31	0.46	2.31	11.77	0.08	0.46	5.38	-	-	0.08	-	1.00	-	-	1.00	-	-	20.00	4.00
さいたま市	報告数 183	2,124	183	19	12	58	134	7	11	98	6	-	1	-	8	-	-	2	-	-	28	9
	49.40	49.40	4.26	0.68	0.43	2.07	4.79	0.25	0.39	3.50	0.21	-	0.04	-	0.89	-	-	2.00	-	-	28.00	9.00

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

1月

7日

13:15 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)	報告患者数																				
	年齢別 (2024年第52週 12月23日～12月29日)																				
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	19,981	69	201	536	567	624	714	743	892	895	876	892	3,574	1,419	1,194	1,424	1,912	1,812	818	482	337
新型コロナウイルス感染症	2,152	18	21	30	27	20	17	18	11	11	17	13	97	105	256	252	241	310	181	267	240
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	74	13	12	25	11	6	5	-	2	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	85	-	3	16	16	6	16	6	3	3	4	3	6	1	2						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	403	-	-	9	29	24	43	37	52	42	30	43	73	4	17						
感染性胃腸炎	873	5	36	88	83	86	91	96	81	61	46	40	73	12	75						
水痘	58	-	1	3	1	2	4	3	3	1	4	3	32	1	-						
手足口病	93	-	2	14	16	10	16	9	11	4	2	3	5	-	1						
伝染性紅斑	449	-	1	12	29	43	82	81	63	47	33	29	27	-	2						
突発性発しん	32	-	6	15	7	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	8	-	-	-	-	1	1	1	-	1	3	-	1	-	-						
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	16	-	1	-	-	1	-	2	3	-	-	-	-	2	-	2	2	2	1	-	
流行性角結膜炎	37	-	-	-	1	-	1	-	-	3	2	1	3	-	5	3	10	3	3	2	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	29	-	5	7	10	2	-	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	1			
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザ(入院)	127	5	9	12	2	3	-	-	1	1	2	3	5	2	4	7	71				
新型コロナウイルス感染症(入院)	90	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	3	6	73				

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第50週 (12月9日～12月15日)

令和7年1月8日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:インフルエンザの定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は大分県(37.22)、福岡県(35.40)、鹿児島県(29.00)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1,316例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(40例)、1～9歳(325例)、10代(71例)、20代(25例)、30代(24例)、40代(42例)、50代(82例)、60代(115例)、70代(226例)、80歳以上(366例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は北海道(11.93)、岩手県(10.51)、秋田県(9.29)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,980例と前週と比較して増加した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(34例)、1～9歳(32例)、10代(13例)、20代(15例)、30代(19例)、40代(39例)、50代(82例)、60代(214例)、70代(532例)、80歳以上(1,000例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は北海道(1.53)、大阪府(0.90)、奈良県(0.70)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第46週以降増加が続いている。都道府県別の上位2位は山形県(0.93)、富山県(0.93)、宮城県(0.75)、鹿児島県(0.75)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は長崎県(5.39)、宮崎県(5.17)、北海道(4.86)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は大分県(11.19)、石川県(10.38)、福井県(9.36)である。手足口病の定点当たり報告数は第42週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山形県(3.89)、鹿児島県(3.59)、岩手県(3.38)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は埼玉県(3.77)、青森県(3.03)、東京都(2.84)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第41週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は群馬県(0.11)、島根県(0.09)、岡山県(0.09)、福岡県(0.07)である。

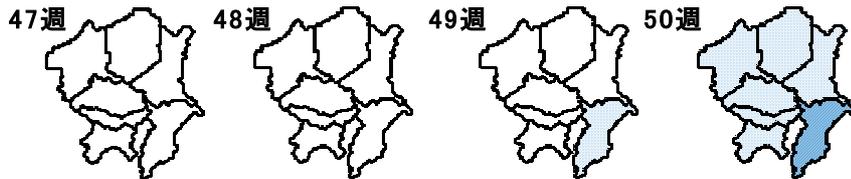
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は愛知県(4.00)、青森県(3.33)、福岡県(2.93)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。7都道府県から10例報告があり、年齢群別では0歳(1例)、1～4歳(4例)、5～9歳(2例)、10代(2例)、30代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第50週(12月9日～12月15日):通巻第26巻 第50号 より

<関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、関東全域で注意報レベル基準値である10.00を上回っており、千葉県(24.49)からの報告が多い。

インフルエンザ



2024年 50週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	
インフルエンザ #1	報告数	94,259	28,402	1,704	891	1,107	5,119	4,971	7,256	7,354
	定点当たり	19.06	18.55	14.20	11.72	13.02	19.61	24.49	17.36	19.98
新型コロナウイルス感染症	報告数	19,233	5,301	659	337	494	1,060	747	924	1,080
	定点当たり	3.89	3.46	5.49	4.43	5.81	4.06	3.68	2.21	2.93
RSウイルス感染症	報告数	1,048	268	13	24	13	62	15	74	67
	定点当たり	0.33	0.28	0.17	0.50	0.25	0.38	0.12	0.28	0.29
咽頭結膜熱	報告数	1,271	339	34	21	25	93	35	86	45
	定点当たり	0.40	0.35	0.45	0.44	0.47	0.57	0.28	0.33	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	8,185	2,588	342	134	63	501	402	726	420
	定点当たり	2.61	2.68	4.56	2.79	1.19	3.05	3.19	2.75	1.79
感染性胃腸炎	報告数	15,354	4,930	257	144	358	883	553	1,530	1,205
	定点当たり	4.89	5.11	3.43	3.00	6.75	5.38	4.39	5.80	5.15
水痘	報告数	960	375	10	14	26	76	45	115	89
	定点当たり	0.31	0.39	0.13	0.29	0.49	0.46	0.36	0.44	0.38
手足口病	報告数	4,156	1,282	109	108	68	286	229	277	205
	定点当たり	1.32	1.33	1.45	2.25	1.28	1.74	1.82	1.05	0.88
伝染性紅斑	報告数	2,951	2,244	28	90	20	618	291	749	448
	定点当たり	0.94	2.33	0.37	1.88	0.38	3.77	2.31	2.84	1.91
突発性発しん	報告数	744	226	15	5	20	36	21	66	63
	定点当たり	0.24	0.23	0.20	0.10	0.38	0.22	0.17	0.25	0.27
ヘルパンギーナ	報告数	103	19	1	3	3	3	-	2	7
	定点当たり	0.03	0.02	0.01	0.06	0.06	0.02	-	0.01	0.03
流行性耳下腺炎	報告数	114	50	-	1	6	10	6	15	12
	定点当たり	0.04	0.05	-	0.02	0.11	0.06	0.05	0.06	0.05
急性出血性結膜炎	報告数	33	16	-	-	-	14	1	-	1
	定点当たり	0.05	0.08	-	-	-	0.33	0.03	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	563	239	53	15	8	41	27	30	65
	定点当たり	0.81	1.14	3.12	1.25	0.57	0.98	0.77	0.77	1.27
細菌性髄膜炎 #2	報告数	12	2	-	1	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.03	0.02	-	0.14	-	-	-	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	13	4	-	-	-	-	-	2	2
	定点当たり	0.03	0.05	-	-	-	-	-	0.08	0.17
マイコプラズマ肺炎	報告数	869	199	25	13	17	35	20	63	26
	定点当たり	1.81	2.29	1.92	1.86	1.89	2.92	2.22	2.52	2.17
クラミジア肺炎 #3	報告数	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	10	3	-	-	-	-	-	1	2
	定点当たり	0.02	0.03	-	-	-	-	-	0.04	0.17

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

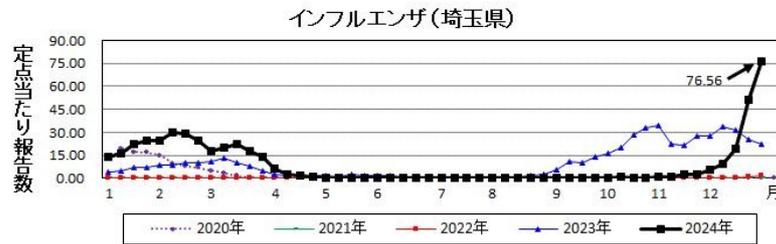
- 感染症発生動向調査 2024年**
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
 - [▶ 感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
 - [▶ 感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
 - [▶ 感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
 - [▶ 感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
 - [▶ 感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
 - [▶ 感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
 - [▶ 感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
 - [▶ 感染症の流行状況 2024年 第9週](#)
 - [▶ 感染症の流行状況 2024年 第10週](#)
 - [▶ 感染症の流行状況 2024年 第11週](#)
 - [▶ 感染症の流行状況 2024年 第12週](#)
 - [▶ 感染症の流行状況 2024年 第13週](#)
 - [▶ 感染症の流行状況 2024年 第14週](#)
 - [▶ 感染症の流行状況 2024年 第15週](#)
 - [▶ 感染症の流行状況 2024年 第16週](#)
 - [▶ 感染症の流行状況 2024年 第17週](#)
 - [▶ 感染症の流行状況 2024年 第18週](#)
 - [▶ 感染症の流行状況 2024年 第19週](#)
 - [▶ 感染症の流行状況 2024年 第20週](#)
 - [▶ 感染症の流行状況 2024年 第21週](#)
 - [▶ 感染症の流行状況 2024年 第22週](#)
 - [▶ 感染症の流行状況 2024年 第23週](#)

感染症の流行状況 2024年 第52週

2024年第52週（12月23日～12月29日）の要点

[インフルエンザ](#)の定点当たり報告数は、前週に引き続き大きく増加しました。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↑	★★★	手足口病	↓	★
新型コロナウイルス感染症	↑	—	伝染性紅斑（りんご病）	↓	★★★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発疹	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★★
水痘（みずぼうそう）	↓	★	流行性角結膜炎	→	★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい→★、★★、★★★→大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。



埼玉県のマスコット コバトン